

平成23年度経営計画

1. 経営方針

(1) 業務環境

1) 兵庫県の景気動向

兵庫県下の景気は、全体として緩やかに回復していますが、平成 22 年夏場以降の急激な円高、デフレの長期化等により持ち直しの動きは減速しています。雇用情勢は依然厳しく、個人消費はエコ関連施策終了による反動などから低調に推移する一方、海外経済の回復により生産活動・輸出は持ち直し、企業収益は上向いています。今後は、東日本大震災が経済活動に及ぼす影響や、為替レートの変動、雇用情勢、国際的な金融の動向等について、注視していく必要があります。

2) 中小企業を取り巻く環境

県下の景気は持ち直しを続けていますが、中小企業には景気持ち直しの波及効果は薄く、景気回復の遅れに伴う売上・受注の減少、競争激化等により、厳しい経営を強いられています。平成 23 年度についても、先行きに対する不透明さは拭えず、当協会のパートナーである中小企業の経営環境は、引き続き厳しい状況が続くと予想されます。

(2) 業務運営方針

このような状況のもと、当協会は、中小企業金融の中核を担う信用補完制度の重要性を認識し、信用補完制度の維持・発展に努めるとともに、厳しい経済情勢下、真摯に経営努力を続ける中小企業者に対する金融のセーフティネットという使命を果たし、地域経済の活性化、信頼される保証協会の確立を目指します。

これらを踏まえ、平成 23 年度における業務運営方針を以下のとおりとしました。

- 1) 業況の回復が遅れる中小企業者のためセーフティネット保証等を有効に活用し、中小企業者の資金ニーズに迅速・的確に対応することで、地域経済の活性化につなげます。
- 2) 経営改善に取り組むタイミングを逸することで、中小企業者が経営破綻することがないように、当該中小企業者の早期実態把握に努め、借換保証や条件変更積極的に取り組むなど、期中支援を強化します。
- 3) 増加する求償権については、目標管理の徹底や保証協会サービサーの活用等により、回収の最大化を図ります。
- 4) コンプライアンスについては、引き続き研修や会議等を通じて役職員の意識向上・情報共有を図り、コンプライアンスマインドの一層の向上を目指します。
- 5) 平成 23 年 7 月に移行するコンピュータ共同システムについて、円滑かつ確実に運用します。
- 6) 課題に対応した職員研修を実施するなど人材の育成を図り、顧客満足度の向上に努めます。

2. 重点課題

【保証部門】

- (1) 的確な保証対応
- (2) 相談機能の充実
- (3) 保証利用度の向上

【期中管理部門】

- (1) 的確な経営支援
- (2) 借換保証・条件変更の推進
- (3) 再生支援への積極的な取り組み

【回収部門】

- (1) 効率的な回収体制の構築
- (2) 目標管理の徹底

【その他間接部門】

- (1) コンプライアンスの徹底
- (2) 顧客対応の充実
- (3) コンピュータシステム共同化に向けての取り組み
- (4) 経営の合理化・効率化の推進
- (5) 人材の育成
- (6) 広報活動の充実
- (7) 産学連携協力の推進

3. 主要業務数値の計画

平成23年度の保証承諾等の主要業務数値（見通し）は以下のとおりです

項目	金額	前年度計画比
保証承諾	4,700億円	78.3%
保証債務残高	1兆3,600億円	93.8%
代位弁済	455億円	76.3%
回収	96億円	91.4%